

平成22年9月

# 藤田小矢香 学位論文審査要旨

主査 原 田 省  
副主査 中 込 和 幸  
同 渡 邊 達 生

## 主論文

“Green odor” inhalation by stressed rat dams reduces behavioral and neuroendocrine signs of prenatal stress in the offspring

(妊娠ラットの緑の香りの吸入は胎生期ストレスによる仔の内分泌・行動異常を抑制する)

(著者：藤田小矢香，上木史織，三好美智夫，渡邊達生)

平成22年 Hormones and Behavior 58巻 264頁～272頁

## 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、緑の香り (green odor) の吸入が妊娠ラットのストレスを緩和し、胎生期ストレス仔ラットの内分泌・行動異常を予防する可能性について検討したものである。その結果、ストレスを受けた母ラットで観察された副腎重量/体重比の増加と母性行動の減少は green odor の吸入により有意に抑制された。一方、胎生期ストレス仔ラットのストレスによるACTH、CORT上昇反応や室傍核のFos陽性細胞数の増加は、妊娠ラットにgreen odorを吸入させると、著明に抑制された。母親ラットの養育行動に関わらず、胎生期ストレス仔ラットではうつ病様行動が観察され、ストレスを負荷された母親の香料吸入はこの行動を防止することが示された。本論文の内容は、妊娠ラットにgreen odorを吸入させると、胎生期ストレスによる仔ラットの内分泌・行動異常が抑制できることを示唆するものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。